



広 報

ひだ

町 木



第64号

肥 田 町

まちおこし推進協議会

H25.1.1発行

新年を迎えて

自治会長 森 野 光 夫



新年明けましておめでとうござい
す。町民の皆様にはご家族お揃いで、輝
かしい新年をお迎えの事とお慶び申し
上げます。昨年中は自治会活動につきま
して、ご理解ご協力を賜り誠にありがと
うございました。また自治会役員、各種
団体役員、ボランティアサークルの方々
には、特にご協力を頂きまして厚く御礼
申し上げます。

さて、昨年末には国政選挙（衆議院議
員）が行われました。昨年までは東日本
大震災もあり、政治不信もあり、また世
界的な経済不況の影響を受けて、日本も
大変な苦境にさらされた一年でもあり
ましたが、新年を迎え日本全体が少しで
も良い方向に向かうよう期待するもの
であります。

昨年肥田町におきましては、経営体育
成基盤整備事業の実施により、生産性や
収益性の高い農業経営を進めているこ
とが高く評価され国の表彰を受けるこ
とが出来ました。これもひとえに関係各
位のご尽力の賜物と存じます。さて昨年
六月には、突如として広域ゴミ処理施設
問題が浮上いたしました。へん驚か
されましたが、町民の皆さんの署名活動
のご協力、その他関係隣町のご協力、ま
ちづくり委員会のご努力のおかげで、現
在廃案の方向に向かっているのではな
いかと拝察しておりますが、未だ行政が
計画廃案を宣言されない以上安心はで
きない事から、今後につきましても注視

していかなければなりません。
二十五年度からは、肥田町まちづくり
委員会では、新しい委員メンバーを迎え
て発足する運びとなりました。少子高齢
化が一段と進む中、肥田町が住みよい町、
暮らしやすい町、生まれて来てよかった
と思える町にする為に、自治会とまちづ
くり委員会が一体となり努力して参る所
存でございます。町民皆さんの一層のご
支援ご協力のほど、何卒よろしくお願
い申し上げます。

また、「農地、水、環境向上対策」につ
きまして第二期に計画二年目を迎えま
す。役員の方々には大変ご苦勞さまで
すが、地域の環境保全と向上の為よろしく
お願い致します。また昨年は、第一回「防
災講習会」を開催いたしました。今後も引
き続き講習会を実施し、防災訓練を行
えるよう順次進め、災害にも強い肥田町
と考えております。

最後になりましたが、本年が皆様にと
りまして良き年でありますようご祈念申
し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



おめでと
うござい
ます
平成25年 元旦

益々のご発展を
お祈り申し上げます。
(敬称略・順不同)

成人

平成4年生

薩摩 あかり

青木 優美

成宮 愛理

喜寿

昭和12年生

藤野 信一

伊関 猪蔵

伊関 順子

鹿島 展子

還暦

昭和28年生

中村 重和

元持 真一

鶴野 功

傘寿

昭和9年生

薩摩 幸男

薩摩 茂和

鶴野 喜八

青木 不二江

成宮 ハツ

古稀

昭和19年生

大家 勝治

岩尾 八重子

藤野 敏子

米寿

大正15年生

薩摩 よし江

卒寿

大正13年生

筒井 和吉

成宮 伊蔵

鶴野 義子



平成25年 成人の日 を迎えて



薩摩あかりさん

新年明けましておめでとうござ
います。

これまで地域の方々をはじめ、多くの人に支えられ本日
を迎えることが出来たことに、感謝の気持ちで
いっぱいです。現在、教育大学に通い、子どもと関
わる仕事に就くという夢に向かって勉強してあり
ます。まだまだ学生気分ですが、成人を
迎えるにあたって、「やりたいことは全て実行す
る」ということを目標にあげたいと思います。実
際に多くの経験をするを通して、より広い視
野で物事を柔軟に考えることができるような人
になりたいと思います。



成宮 愛理さん

明けましておめでとうござ
います。

先ず始めに、沢山の方々
に支えられ、無事に二十歳
を迎えられたことを、本当に嬉しく思います。
成人を迎えたことで、今までよりも自覚ある行
動を心掛けたいと思います。

私は、今将来の夢に向かって一生懸命頑張っ
ています。実家を離れたこと、アルバイトをし
たことで、多くの方の優しさが自分の力になっ
ていることを強く感じました。次は、私自身の
行動で一人でも多くの方の笑顔が見られるよ
うに、「自分の力」を育てていきます。



青木 優美さん

新年あけましておめでとう
ございます。

私がこうして無事二十
歳を迎えられたのは、家
族、そして地域の皆さんのお陰であると感謝
しています。成人になったとはいえ、まだま
だ未熟ですので、これから社会的にも、もっ
と経験を積んで自分の行動に責任が持てる
大人になりたいと思います。

今は自分の夢に向かって勉強中ですが、今
後、社会に出て皆さんへの感謝の気持ちを
忘れず、がんばっていききたいと思います。今
後ともどうぞよろしくお願いします。

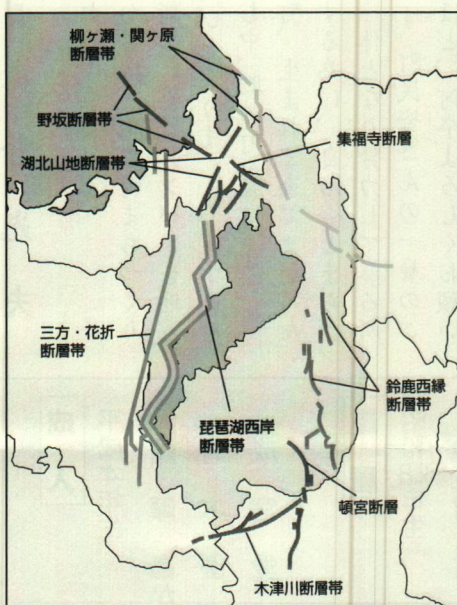
新春特集

災害は忘れたころにやって来る

防災の心構え

私たちは普段の日常の生活に慣れてきて、この地帯は災害に強い、有難いことだ、安心だ、ととく勝手に思い込んで生活しているのではないのでしょうか。災害は忘れた頃にやって来ると肥田町自治会では、昨年の秋10月に彦根市役所総務部危機管理室にお願いして防災講習会講師の笠原恒夫さんをお招きして防災講座を開催しました。当日の内容は、私ども町民にとっても大変に大切なことばかりで、平日で出掛けにくい方もありましたので、改めてその要点をここに紹介して、実際に心がけていただければと思います。

先ず衝撃的なことは、この彦根市には、地形からして丁度その背中の位置に「鈴鹿縦断層帯」と呼ばれる断層帯があり、ほぼ南北に走るこの断層帯は、10の断層帯で構成されていること、その中の仏生寺断層は市内仏生寺町付近、彦根断層は名神インター近くに存在すると見られています。この断層帯から引き起こされる地震の震度は、市内全域で震度6ぐらいが想定され、半分の地帯は阪神淡路大震災並みの震度7とも考えられています。私どもは、そんな地震の発生の可能性が危惧されている状況下にあります。彦根市では既に市の広報などで伝えられているように、災害に強い「ものづくり」「ひとづくり」と「しくみづくり」の視点から災害に強いまちづくりが鋭意進められてきています。



【できることから地震対策!! (滋賀県発行) 参照】

地震と言えばここに来て、東南海地震、トラフ南海地震、また琵琶湖西岸断層地震（高島市から大津市）も想定の中に入り影響は大きく、また花折断層地帯（高島市から京都市）でも最大震度5強が予想されるとか、もう一度町民みんなが、真剣に周りを見渡して日常での心構えと装備を固めておくことへの警鐘を改めて今回頂いたと思います。

地震の発生したとき、最も基本の対応とは、①発生一落ち着いて自分の身を守る、命を守る 揺れが収まったら②1分から3分の間一家族の安全を確認、火元を確認、屋内でも靴を履くこと、非常時持ち出し品を急ぎ手元に用意しておく。③余震による倒壊、火災に注意。④倒壊の恐れがある時、避難した旨を知らせる伝言を書き置き避難すること。⑤日常で予め家族での役割分担は決めておく。5分から10分の間一⑥地域を守る心得、お隣り近所の安全確認、高齢者、障害者要援護者の安



否の確認、ラジオなどの情報を確認、電気のブレーカーを切ること。通学の子どもを迎えに行く。また、⑦助け合いの心で一協力して消火活動、救出活動、災害、被害情報の収集、余震への注意、生活必需品は備蓄でまかなう、避難した場合は集団生活のルールは守ること。

とっさの判断が生死を左右します。自宅での場合

台所で料理中の時一揺れを感じたらすぐに火を消す、大きい揺れの途中は危険、なるべく早く台所から離れること。寝ている時一布団や枕で頭を守り家具から離れて身を伏せる。

また玄関や出口を開けること。車に乗っている時は、道路の左に寄せ、ラジオで情報の確認、車を離れる時ドアロックはせず、キーはさしたまま、車検証は持って出ること。

非常食や持ち出すものの準備は出来ていますか

各家庭で常に家族3日分の非常食は用意しておくこと一飲料水3日分 非常食3日分はレトルト食品や缶詰、缶切りと紙コップ、皿。その他では、毛布、乾電池、ビニール袋、ラップ、医薬品、お医者さんからもらっている薬は、その処方箋のコピーを携帯のこと。懐中電灯、ラジオ、メモ帳と鉛筆、ティッシュ、紙おむつ、生理用品、当面の肌着や衣類、マッチ、ライター、裁縫セット、現金と小銭もお忘れなく。



これらいずれも今までの震災体験から指摘されたものです。当たり前のことをやれるかが大切です。

高齢化も一段と進む町、災害への防備は日頃の向こう三軒両隣から町ぐるみの助け合いの心が一番大切だと思います。そしてきめの細かい具体的な自治会長からの対応指示が求められます。自治会としては、今回は防災訓練方式での対応を考えられています。また高齢化の進む町として、これからは、特に昼間の災害発生時、強力な若い人々を欠く時間、いわゆる在宅の方、老人が戦力になるような防災訓練も極めて重要になって来ていると考えます。安全安心に強い肥田町の町づくり、防災面でも発揮したいものです。町民皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

